



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
5/23 (月)	+ 500	▲ 15,300	▲ 14,800	国債発行・償還 (20Y) 国庫短期証券発行・償還 (3M)	CP等買入 ▲ 200 国債補完供給 + 1,400		日米首脳会談
5/24 (火)	+ 1,000	+ 6,000	+ 7,000				
5/25 (水)	+ 2,000	▲ 4,000	▲ 2,000	国庫短期証券発行・償還 (6M) 流動性供給	共通担保オペ ▲ 5,050		米：FOMC議事要旨 (5月3, 4日開催分)
5/26 (木)	トン	+ 130,000	+ 130,000	地方公共団体向け貸付			米：新規失業保険申請件数 (21日終了週) GDP (1Q, 改定値)
5/27 (金)	▲ 1,000	+ 4,000	+ 3,000	国債発行 (40Y)	新型コロナ企業支援 ▲ 69,228		日：東京CPI (前年比) (5月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初国債買入オペの要因から、先週末対比2,100億円増加の554兆3,200億円から始まった。17日、18日は大きな変動はなく横ばいで残高が推移し、19日は国債発行により同残高は552兆7,800万円まで減少した。週末20日の同残高は国債買入オペにより増加し、554兆7,000億円 (速報) で越過となった。
無担保コールON物加重平均金利は5月積み期初日である週初は△0.019%からのスタートとなった。週を通して大きな変化はなく△0.019~△0.018%と小幅圏で推移し、週末は△0.020% (速報) となった。ターム物では1W~2W物を中心に、主に△0.020%~△0.010%の水準で出合いが見られた。
来週の主な予定は、国内では東京CPI (6月) の公表 (27日) などがあり、海外では米FOMC議事要旨の公表 (25日) や米GDP (1Q, 改定値) の公表 (26日) などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.050 ~ 0.001
1M	△0.020 ~ 0.030
2M	△0.020 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

<レボ>

足許GC取引は、週初△0.10%近辺の出合いから始まった。18日受渡しでは△0.14%~△0.13%まで低下し、以降は△0.12%~△0.10%で推移した。短期3Mの発行日となる23日受渡しでは△0.11%~△0.10%で多く取引された。SC取引は2年413~436回債、5年137~151回債、10年333~366回債、20年164~180回債、30年66~74回債、40年9~14回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.000
CP 3M	△0.010 ~ 0.000

<CP>

今週の入札発行総額は約7,500億円で、週間償還額 (約4,800億円) を上回った。発行市場は、5・10日発行での新規案件と石油製品や鉄鋼等、幅広い業種で大型案件が実施され、活況となった。発行残高は先週末の25兆2,307億円から、19日時点では25兆2,760億円に増加した。発行レートは、0%近辺の出合いであった。
来週の週間償還額は、月末日の大量償還 (1兆300億円) を含み約1兆6,200億円となっている。発行市場は、月末スタートの大量発行が見込まれるため、発行増が見込まれる。発行レートは、0%近辺での出合いを予想する。26日に、CP等買入オペが4,000億円でオフアーされる予定となっている。

<TDB>

5月19日の1Y1080回債の入札は、最高落札利回り△0.0804% (前回債△0.0659%)、平均落札利回り△0.0884% (前回債△0.0789%)、5月20日の3M1081回債の入札は、最高落札利回り△0.1162% (前回債△0.1142%)、平均落札利回り△0.1210% (前回債△0.1218%) となった。
来週は24日に6Mの入札、27日に3Mの入札が予定されている。